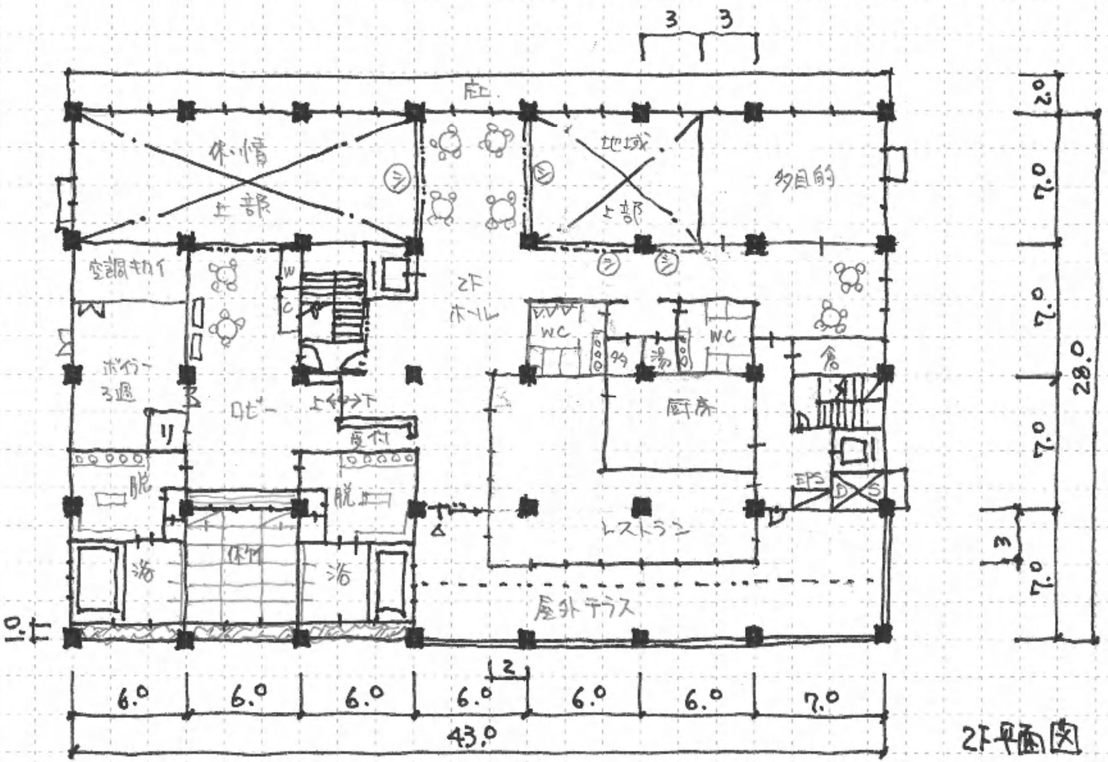
□ 平成26年度　1級設計製図本試験 □

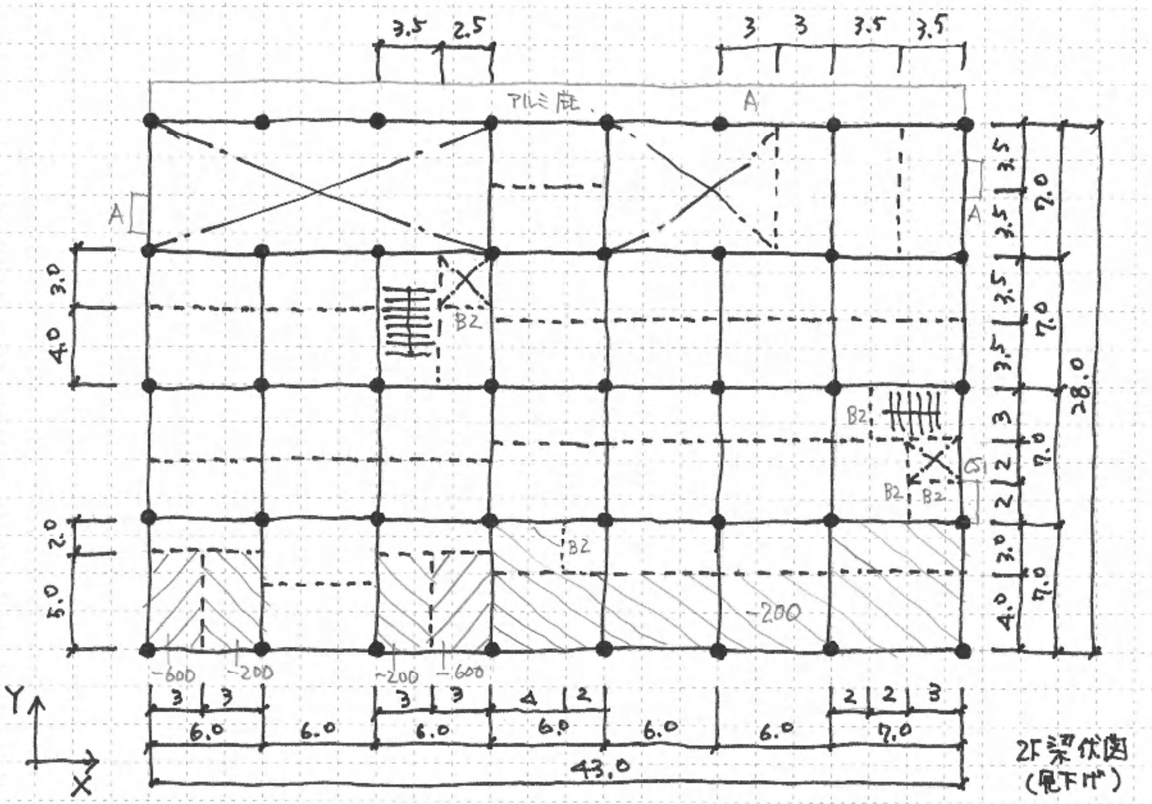
『温浴施設のある「道の駅」』



庇
休憩 上部
地域 上部
多目的
空調機械
2F ホール
ボイラー 3過
ロビー
WC
厨房
倉
EPS
脱
浴
露天
レストラン
屋外テラス
6.0
7.0
43.0
28.0

2F平面図

⑤ 防火防煙シャッター
⑦ 管理シャッター



アルミ庇
A
B2
-200
-600
Y
X
6.0
7.0
43.0
28.0

2F梁伏図
(見下げ)

■構造部材

柱 C1 700×700
大梁 G1 500×800
小梁 B1 300×600
〃 B2 300×500
スラブ S1 t=200
片持スラブ CS1 t=150
庇 A アルミ製庇

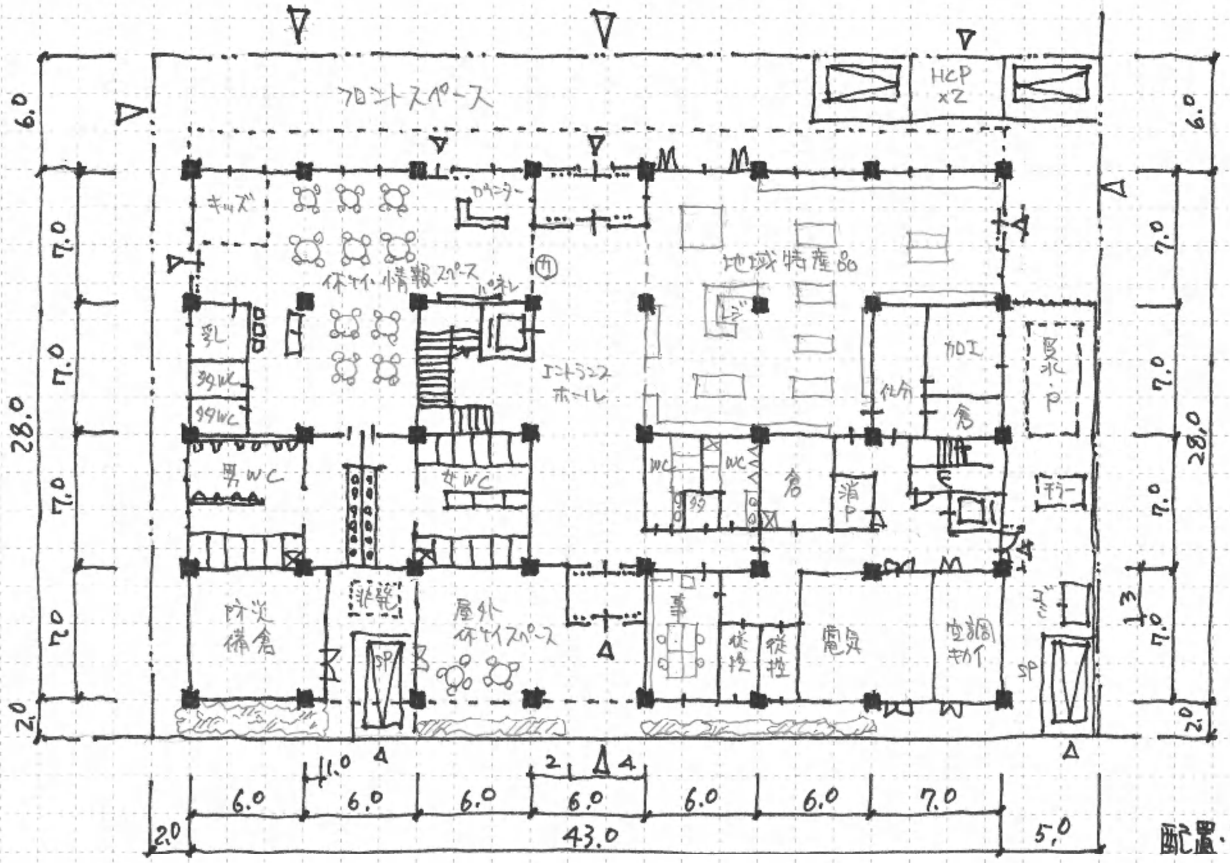
特記なき場合 柱－C1 を示す
大梁－G1
小梁－B1

■空調 全館・24hの2系統
空冷ヒートポンプチラーユニットによる単一ダクト方式

給水
受水槽方式 直送ポンプ室付

電気
屋内型 キュービクル.

給湯
ガスボイラー ＋貯湯槽
浴槽は 3過装置付



フロントスペース
HCP ×2
キッズ
カウンター
休ケイ情報スペース
地域特産品
エントランスホール
乳
多WC
加工
倉
受水P
仕分
女WC
男WC
事
休憩
電気
空調機械
消P
キュービクル
防災備倉
屋外休ケイスペース
SP
6.0
7.0
43.0
28.0
5.0
2.0

配置・1F平面図

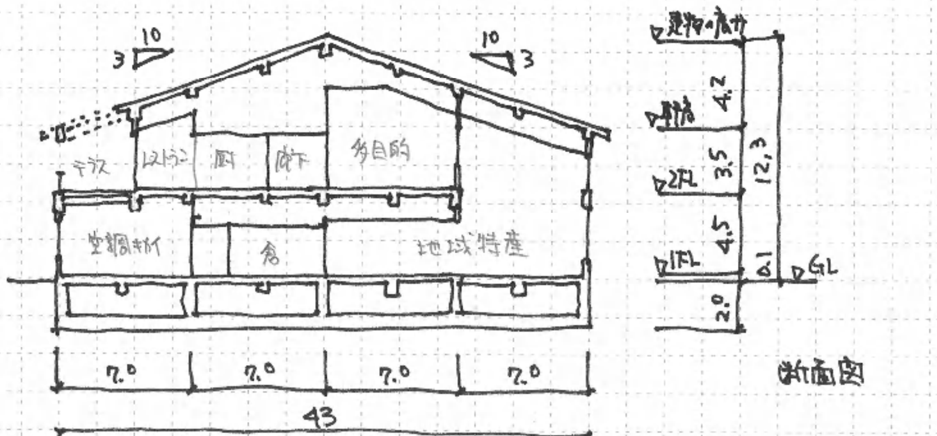
床面積

2F = 18×20 + 25×21 − 9×7 + 14×3
= 360 + 525 − 63 + 42
= 864

1F = 43×28 − 17×7 + 4×3
= 1204 − 119 + 12
= 1097

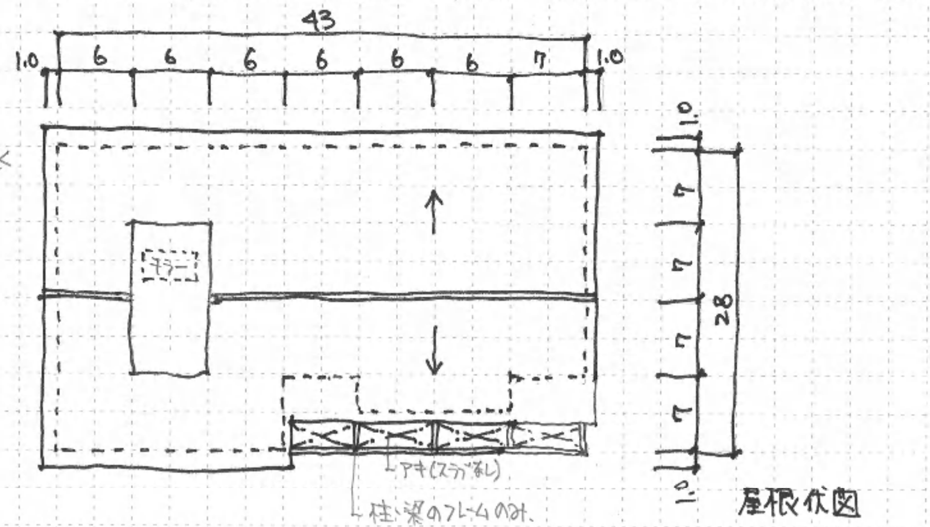
計 1097 + 864 = 1961
1800〜2200−OK

建築面積
43×28 + 43×1 = 1247
<1260−OK



最高の高さ
軒高
2FL
1FL
GL
テラス
レストラン
厨
廊下
多目的
空調機械
倉
地域特産
4.2
3.5
4.5
0.1
2.0
12.3
7.0

断面図



43
1.0
6
7
28
チラー
アキ(スラブ無し)
柱・梁のフレームのみ.

屋根伏図

(1) ① 1,2F共に建物中央に共用のホールを配置.
1Fは、エントランスの西に休ケイ情報、東に地域特産
2Fは、ホールの西に温浴、東にレストラン・多目的
各フロア共、シンプルでわかりやすいゾーニング
② 休情は、建物の西北のコーナーで駐車場から視認良.
外部から2つの出入口、エントランスに面して動線を短く.
レストラン・浴室は、2Fの南に面し眺望が良.
どちらも2Fホールに面して動線がシンプル・短く.
③ 2Fホール、多目的室、温浴ロビーの天井は、
勾配屋根に合わせた傾斜天井で天井高を高く.
圧迫感のない快適な空間

(2) ① 浴槽等によるスラブのレベル差
レベルの変わる位置に小梁を配置し、
スラブの応力を無理なくメインフレームに伝達.
② 棟を柱グリッドに合わせ大梁を配置.
同一スパンにより対称型の傾斜スラブで安定.
2F外壁に関わらず、整形なメインフレームを
構成し、シンプルで安全・安定した架構.

(3) ① ガス焚ボイラー　多量の給湯に安定した供給.
一番多く使用される浴室に近接、配管を短く.
② 3過：2Fボイラー室内　浴室に近い，外部に面して扉.
排発：道路に面した管理エリア SPに近い
空調：室外機 地上・屋上 管理エリア 室内機に近い
室内機 1･2F 均等 〃 外部に面して扉

課題名		教室名	2014.10.13	受講ID		氏名	(4) 勾配屋根：散水循環による屋根面の温度上昇を抑制し 空調負荷を低減 吹抜け：ペアガラス及び居住域の空調管理による 空調負荷の低減	エスキス時間	